

授業名称：ラップアップ

シラバス

(地方公共団体向け)

概要：

今回のプログラム全体を振り返り、授業内容に関する評価を行うと同時に、プログラム終了後の業務や日常生活への活用方法等を取りまとめる。

学習目標：

とりまとめでは、

- ①文章だけでは検討や伝達が不正確な場合の地理空間情報の活用を理解する
- ②既存の地理空間情報に対する理解や、必要に応じて新たな空間情報作成について理解する
- ③空間情報の整備・流通・提供に関する行政の役割を理解する
- ④政策立案、課題解決の社会技術の道具としての使い方を理解する
- ⑤これからの業務の中での活かし方を身に付ける

受講対象：

地方公共団体等において、GISに関連する業務に従事している者、もしくはGISに関する基礎知識は有しており、今後、専門性を高めたい意向がある者等

- (1) 地方公共団体の情報部門の人材
- (2) 地方公共団体の情報部門以外に所属し、GISの活用が期待される業務に従事する人材
- (3) その他、地域行政に関連する組織に所属し、GISの活用が期待される業務に従事する人材

教育手法：

パワーポイントによる授業。及びグループディスカッション。

担当講師及び講師の必要要件：

空間情報に特性についての理解があり、自治体の業務の流れを理解し、その活用に向けて空間的思考についての理解があること。

参考資料：

各地のGIS取組事例、及び以下のサイト

- 1) 地理空間情報活用推進会議：GISポータルサイト>GISについて>インターネットで使えるGIS
<http://www.gis.go.jp/contents/about/internet/index.html>
- 2) 国土地理院：電子国土ポータル>サイト一覧>地方別
<http://portal.cyberjapan.jp/image.html>
- 3) 地図センターホームページ>地図・GIS・測量関係のリンク集>地方自治体
<http://www.jmc.or.jp/link/local.html>

キーワード：

自治体GIS、空間的思考